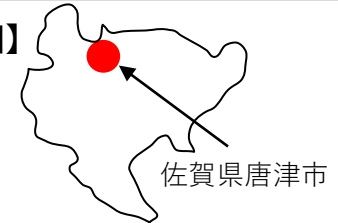


鏡果実農業協同組合 担い手確保・育成を進める一貫体制づくり（研修農場の整備）

- 鏡果実農協は、唐津市の鏡山の南側のエリアを管内としたカンキツ専門農協で、中山間地域も多く、農地条件や栽培条件等が厳しい。また、農業者の高齢化等により生産者の減少が見込まれ、新たな担い手の確保が課題となっている。
- R6年度に新規就農希望者を受け入れ、技術・経営面の支援をしていくため、施設中晩柑の研修施設を整備。現在までに長期研修生1名を受入れている。

【位置図】



取組前

- 鏡果実農協は栽培面積17ha、販売額4.4億円のカンキツ専門農協である。
- 唐津市半田、宇木を中心に施設中晩柑、ハウスみかん、露地みかんを生産しているが、中山間地域に位置する園地も多く、高齢化等によって組合員数はH25年の40名からR7年は28名に減少している。
- 近年の鏡果実農協の新規就農者数は、組合員の血縁者が中心であり、新規参入者はいなかった。

取組内容

- R6年度に組合員の先進農家をトレーナーとし、研修施設を整備。
- 部会や唐津市、振興センターと連携を図り、研修内容の充実化、就農後のフォロー体制の整備、就農に向けて農地・ハウスの確保の支援を行っている。

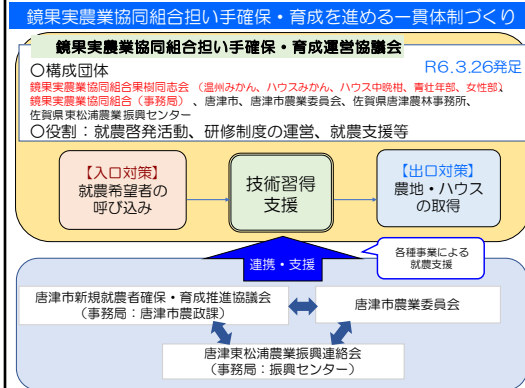


写真：施設中晩柑研修施設

取組後(成果)

- R6年度に研修施設を整備した。
- R6年度に開催した、就農セミナーの参加者のうち、1名が研修生となった。
- 研修生は、高齢の組合員の園地の一部を継承し、R8年4月に就農した。

【サポート体制】



新規就農者や研修生の声

- 中晩柑の研修施設だけではなく、トレーナーの圃場で様々な品種のカンキツについて学ぶ機会があり、品種ごとの枝の特徴や作業について実践的な研修を受けています。また、部会の研究会や反省会にも参加させていただき、他農家の取組や工夫についても深く学ぶことができました。

サポート体制構築事業 活用年度：令和6年度

【問合せ先】 鏡果実農業協同組合担い手確保・育成運営協議会
（事務局：鏡果実農業協同組合）

TEL：0955-77-0911

E-mail：kakyou01@titan.ocn.ne.jp